

よろろう 議会だより



「養老町子ども議会」(13ページに詳しく記載してあります。)

2020.2.1

(令和2年)

No.147

147

号

2020.2.1

発行/2020年2月1日 養老町議会

〒503-1392 岐阜県養老郡養老町高田798

TEL 0584-32-5084(直通)

編集/議会だより編集特別委員会

印刷/盛福印刷機

印刷/盛福印刷機

印刷/盛福印刷機

「養老フェスタ 2019」にて 議会アンケートを実施

10月26日・27日に開催された養老フェスタ2019にて、議会に対するアンケートを実施した。



両日合わせて大勢の方にご協力頂きました。大変ありがとうございました。この結果は12ページに掲載している。

3月に定例会を3月3日(火)から 3月19日(木)まで開会する予定です。 ぜひ傍聴にお越しください。

(詳しい日程については、「広報よろろう」3月号と町ホームページでお知らせします。ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。)



3月定例会一般質問の日(2日目)は、車いすの方も議会を傍聴して頂けるよう試みを実施します。

議会ニュース

全国町村議会議長会表彰

全国町村議会議長会より創立70周年記念表彰として永年功労者(議員在職30年以上)である水谷久美子議員が表彰された。12月定例会初日に長澤龍夫議長より、賞状が授与された。



垂井町議会との合同研修会

11月26日、垂井町議会を訪れ、合同研修会を開催した。今回は「ふるさと納税」について各町担当課より説明を受けた。その後、9月より移転された垂井町役場新庁舎を見学した。



議会に対しての意見

シリーズ
31

■ 住民の声 ■

このシリーズは、町内の各種団体の代表や副代表等の方へ、編集委員が意見をお聞きし、その記事を掲載するものです。

議会はどうなことをしているのか? 議員はどんな人なのか? を町民のどれだけの人が知っているのか甚だ疑問。4年に1回の選挙戦で、若干興味を示す程度が実態と思う。日常の活動と町民の関心事とにズレがあるように思える。

少子高齢化・人口減少で当町も消滅可能性都市のリストに上がり、地域によっては限界集落の危機にある。我が町も高齢化が進み、子どもの姿も極小。地元コミュニティ活動は元より、氏神やお寺の祭事すらままならない状況にある。

町の第5次総合計画も残りわずか。人口3万2千人の維持目標は夢のまた夢。インターの開設や関連道路など一定の進展は見たが利用者が増えてこそが本来の成果である。

町長の口癖に「養老が一番」がある。しかし、どんな統計資料にも当町がトップの項目がない。他市町村をしのぐ魅力があつてこそ、居住人口や来町者の増加に繋がると思う我が町が一番と自他ともに認める魅力づくりに、議会・行政一体となって取り組んでほしい。

(町内在住 M・Tさん)

議会だより編集 特別委員会

委員長	田中 敏弘
副委員長	岩永 義仁
委員	水谷久美子
委員	早崎百合子
委員	小寺 光信
委員	清水由美子

12月定例会・本会議報告	2
常任委員会報告	3
ほかにこんなことが決まりました	4
町の考えを問う(7議員が一般質問)	5
あれから「地域公共交通網形成計画」はどうなったんやあ〜	11
議会アンケート集計結果	12
第3回子ども議会を開催	13
議会に対しての意見(住民の声)	14
議会ニュース	14

12月

定例議会

ホームページ

<http://www.town.yoro.gifu.jp/>



議会QRコード

「わたしの声」を待っています。
役場ロビーに意見箱を設置してあります

「わたしの声」
の宛先は

〒503-1392 養老町高田798番地 養老町議会事務局内
TEL (0584) 32-5084 (直通) FAX (0584) 32-1812
メールアドレス: 14gikai@town.yoro.gifu.jp



12月定例会

令和元年第4回定例会が、12月10日から20日までの11日間の会期で行われた。

初日(10日)は、条例の制定、補正予算など21議案の提案理由の説明があり、それぞれ総務民生委員会及び産業建設委員会に付託した。

また、固定資産評価審査委員会委員3名を任命同意し、選挙管理委員4名及び同補充員4名を指名推薦により決定した。他に議員発議による議員派遣について可決した。

2日目(19日)は、7議員が一般質問を行った。

最終日(20日)は、総務民生委員長及び産業建設委員長より、付託された議案についての審査の経緯と結果の報告後、採決を行った。初日に提案理由の説明があった21議案について全て原案のとおり可決した。

なお、定例会の様子はインターネット公開している。2日目(一般質問)はケーブルテレビで放送した。

本会議(議場)における主な質疑内容

●養老町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定

任期付職員の任期の定めは。

答 高度の専門的知識・経験等を有する任期付職員は5年以内。また、一定の期間に終了する業務、又は一定の期間内に限り業務量の増加が見込まれる業務に従事する任期付職員については、3年以内であるが、特に必要な場合は5年まで延長できる。

●養老町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定

現在のフルタイムとパートタイムの内訳は。

答 平成31年4月1日現在、嘱託職員及び臨時職員は273人

であり、うちフルタイムが107人、パートタイムが166人である。

現在の臨時職員が会計年度任用職員に移行した場合の年収への影響は。

答 会計年度任用職員は、期末手当や通勤手当が支給されるため、その分増額となり、給与に関しては年収が現状と同等になるように初任給の方を設定する。

●養老町森林環境譲与税基金条例の制定

県の清流の国ぎふ森林・環境税と国の森林環境税の兼ね合いは。

答 県が平成30年にガイドラインを出しており、国と県では使途が重なるところが無いと説明されている。

●当町の譲与額の動向は。

答 現時点の試算によると、令和3年度までは今年度と同額、4年度から6年度までは265万5000円、7年度から10年度までは376万1000円、最終的に15年度には600万円程が当町に入ってくる見込み。

●当町の森林面積、林業就業者数、森林組合の有無は。

答 森林面積は1882ha、そのうち私有林人工林面積が595ha。林業就業者はいない。森林組合は沢田生産森林組合と西南濃森林組合がある。

●養老町一般会計補正予算

温室効果ガス排出ゼロを目指すための当町の取り組みは。

答 役場では再生紙の購入や電子化等の促進、毎週水・金曜日のノー残業デーの実施により、省エネに努めている。

●養老町立食肉事業センター特別会計補正予算

今後の繰入額の予想は。

答 今回の豚コレラ(CSF)による豚の処理頭数の減少はワクチン接種によりある程度回復すると考えているが、施設の老朽化による維持管理費は増加傾向にある。来年度の予算は償還金の減少と合わせても本年度当初と同額程度を見込んでいます。



総務民生委員会へ付託された議案

●養老町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定

具体的に該当する職種は。

答 現在の嘱託の園長が一般職の任期付職員に該当する。

●養老町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定

手当てや給与体系の変更点は。

答 現在の臨時職員と嘱託職員が会計年度任用職員に移行されると、一定の要件を満たした場合に期末手当が支給されたり、通勤手当が支給されるようになるため、予算が約1500万円増額する見込み。

●地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

公民館長の扱いの変化は。

答 現在、非常勤の特別職であるが、4月からは会計年度任用職員になる予定であり、給与体系について現在検討している。

●令和元年度一般会計補正予算

障害児通所給付事業が2000万円ほど増額となっているが、利用人数と金額は。

答 増額の要因となっているのは放課後等デイサービス事業で、平成30年10月分が利用人数34名、金額280万円であったものが、令和元年10月分は利用人数42名、金額323万3000円となり増加している。

●寄付金の振り分け内容は。

答 寄付者である藤井ハウズ株式会社の意向で、教育(藤井文庫)、消防、まちづくりに振り分けさせて頂いた。

●出産祝い金支給事業50万円の補正増の内容は。

答 一人あたり10万円を5人分。当初23人分を予定していたが、現時点(12月12日現在)で19名あり、今後増える予想されるため。

産業建設委員会へ付託された議案

●養老町町道の構造の技術的基準を定める条例の一部改正

今回の改正により、自転車通行帯や自転車道を設置する必要がある箇所は。

答 町内には無く、箇所は無い。

●養老町上水道事業の設置等に関する条例の一部改正

地方公営企業法を適用した場合のメリットは。

答 メリットとしては、経営状況が明確化され、経営の健全化を示しやすくなること、新たに減価償却を導入するため、設備の老朽化の状態などを的確に把握できるようになること。

●令和元年度養老町一般会計補正予算

●森林環境譲与税基金積立金177万円の財源科目は。

答 国県の補助金という扱いの特定財源ではなく、地方譲与税という税金の扱いの一般財源になる。

●行政の直轄ではなく、協力団体や協賛団体でイルミネーションを実施する動きは。

答 地元ではそういう動きは無いと思う。なお、養老公園運営協同会議において、県で何か実施してもらえないか要望していきたい。

●令和元年度養老町立食肉事業センター特別会計補正予算

●豚コレラ(CSF)の現状は。

答 豚コレラ(CSF)の影響で豚の処理頭数が約2割減となっている。なお、当町に

●下水道整備推進費85万8000円の内容は。

答 下水道の地方公営企業法の適用に伴い、これまで下水道の納付書などで使用していた電子公印を統一するためのシステム改修に要する費用。

*2 農林水産省は「消費者にできる限り不安や不信を招かないようにするため」と豚コレラの呼称を「CSF」に変更した。CSFとは「classical swine fever(古典的な豚の熱病)」の略。

令和元年12月
定例会

こんなことがきました 審議した議案とその結果

議案	結果
養老町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定	全員賛成で可決
養老町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定	全員賛成で可決
養老町森林環境譲与税基金条例の制定	全員賛成で可決
地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関連条例の整備に関する条例の制定	全員賛成で可決
養老町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	全員賛成で可決
養老町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	全員賛成で可決
養老町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	全員賛成で可決
養老町町道の構造の技術的基準を定める条例の一部を改正する条例	全員賛成で可決
養老町上水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	全員賛成で可決
養老町下水道条例の一部を改正する条例	全員賛成で可決
予 算	
令和元年度養老町一般会計補正予算（第3号）	全員賛成で可決
令和元年度養老町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	全員賛成で可決
令和元年度養老町立食肉事業センター特別会計補正予算（第1号）	全員賛成で可決
令和元年度養老町上水道事業会計補正予算（第1号）	全員賛成で可決
令和元年度養老町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	全員賛成で可決
令和元年度養老町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	全員賛成で可決
令和元年度養老町介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	全員賛成で可決
令和元年度養老町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	全員賛成で可決
そ の 他	
岐阜県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び岐阜県市町村職員退職手当組合規約の変更に関する協議	全員賛成で可決
令和元年度養老町立食肉事業センター特別会計の繰り入れの変更	全員賛成で可決
令和元年度養老町公共下水道事業特別会計の繰り入れの変更	全員賛成で可決
選 挙	
選挙管理委員 伊藤 哲、改田 俊雄、近藤 則昭、藤井 忠敬 同補充員 小川 静雄、藤田 詳治、村上 英雄、若山 清 (任期 令和元年12月23日から令和5年12月22日)	指名推薦
人 事 同 意	
固定資産評価審査委員会委員 佐竹 孝一、吉松 攝雄、中島 敏美 (任期 令和元年12月27日から令和4年12月26日)	同意
議 員 発 議	
全国市町村国際文化研修所「防災と議員の役割」 吉田 太郎、大橋 三男、清水由美子	全員賛成で可決
全国市町村国際文化研修所「自治体財政の見方～健全化判断比率を中心に～」 松永 民夫、小寺 光信、西脇 康	全員賛成で可決
全国市町村国際文化研修所「市町村議会議員特別セミナー」 水谷久美子、田中 敏弘、早崎百合子、岩永 義仁 (敬称略)	全員賛成で可決

大巻53号線の今後の対応は

町長 整備を進めることは困難



◆松永 民夫 議員

問 基盤整備事業の進捗状況と大巻53号線の再着工の用途及び関係地区への説明は。

答 平成28年度から大巻地内において基盤整備事業が計画されているが、社会資本整備総合交付金事業と基盤整備事業の規格、形状の相違がある。基盤整備事業の設計も出来ていない状況であるため、大巻53号線の整備を進めるのは困難である。

問 町道大巻53号線は平成28年度より事業が開始され、着工から5年で完成と説明を受けていた。しかし、次年度よりこの事業が中断することであり、その理由と今後の対応は。

町道大巻53号線は池辺地区の共同要望で平成25年度に事業化し、平成28年度から社会資本整備総合交付事業として進められてきた。

答 平成30年5月に「大巻地域農業基盤整備事業推進協議会」が設立され、令和2年度及び3年度に調査設計、令和4年度に実施設計を行い、令和5年度より事業実施予定である。再着工は基盤整備事業と同時に着工と考えている。丁寧に地元説明をしていく。



大巻53号線

老人会・敬老会の今後の対応は

町長 当面は現状を維持したい



上多度地区敬老会

問 町内老人会の129団体のうち今年までに36団体が解散・休会している。約600万円の補助金が老人会活動に支給されたが、解散した地域への対応は。また、有志で再結成された場合の対応や老人会入会年齢の見直しの考え方は。

老人会は各地区で解散・休会が相次いでいる。敬老会は社会福祉協議会へ委託し運営している。対象者の増加が著しいのが現状である。

答 役員のみならず、足で年間1〜2回、ラブが解散されている。解散された地区への補助金は拠出していない。有志で再結成された場合は、年齢は厚生労働省の要綱で60歳以上の要件が示されているので見直しは考えていない。

問 敬老会は団塊の世代の増加で対象者が年々増えていく現状である。補助金及び対象年齢の見直しの考えは。

答 今年度は436人だが、令和12年頃には5600人と推計されている。財政的観点から見直しは必要と考えるが、高齢者を敬う町として、当面は現状を維持し見直しは考えていない。



◆早崎百合子 議員

公共施設のトイレの洋式化は

町長 個別施設の修繕計画を進める

令和2年には、中央公園多目的広場がねりんピックの開催会場となり、多数の方が総合体育館内のトイレを使用することとなる。

問 公共施設の多くは、災害発生時の指定避難所となっている。トイレの設置状況は。

答 町内の指定避難所となっている公共施設は42施設（養老町所管40施設）。

男性用トイレ	182器
うち洋式	82器
女性用トイレ	404器
うち洋式	127器
多目的洋式トイレ	26器

問 総合体育館は、スポーツ推進計画で町が目指す「1町民1スポーツのまち・養老」を具現化するための拠点施設である。男性用・女性用に洋式トイレの設置予定は。

答 優先的に整備できるところを検討していきたい。



総合体育館

公共施設解体と新施設の整備は

町長 新施設建設は困難

旧多芸小学校は解体予定であるが、地域活動に多大な影響を与える。総合的に考慮すると何らかの対応が必要と考える。

問 公共施設の整備状況（解体）及び、その維持管理は。

答 養老町公共施設等総合管理計画に基づき、各施設の個別施設計画を順次策定している。今後は、その施設方針について行財政改革推進審議会にはかる。

問 多芸東部地区に公共施設の整備は。

答 町内施設の効率性・効果的であり、財政状況等を踏まえて検討したが困難である。

問 多芸東部地区では多目的な使用をされており、地域活動に影響がある。何らかの対応が必要であるが。

答 今後の地域活動については、町内の近接地区との連携や他の施設を活用するなど、事業展開を検討していきたい。



旧多芸小校舎



◆清水由美子 議員

若い世代の人口減対策は

町長 次期総合戦略の策定に取り組む

人口推計を上回る若い世代の人口減少。将来にわたり住み続けられる町への施策を問う。

問 子供（14歳以下）の人口推計は。

答 国勢調査での国立社会保障・人口問題研究所の推計によると2025年は25478人、2035年は1858人、2045年は1374人である。

問 I・J・Uターンの実績は。

答 平成28年度から平成30年度までの子育て世帯住宅取得支援事業補助実績は62件、I・Jターン世帯は9件、Uターンは15件。

問 養老町の強みを生かした特色ある事業施策は。

答 郷土愛を育てる取り組みとして「養老かるた大会」の開催。本年度は三代目フレンドリーマッチを実施した。

問 次の総合戦略の予定は。

答 総合戦略を評価・検証する「養老町地方創生推進委員会」でも議論を重ね、「（仮称）養老町まちづくりビジョン」の策定と併せ取り組んでいく。

PRの充実と集客増の施策は

町長 観光交流人口拡大に努める

来年は、養老公園開園140年。町内学生の新発想も取り入れた観光町づくりや、観光での友好都市計画も必要であると考えます。

問 関ヶ原町など西濃地域での広域連携は。

答 「西濃2大サイダー飲み比べ！親子で体感！関ヶ原歴史体験と養老公園ファミリープラン」が販売されている。焼肉街道など、食肉産業や養老町特産ブランドをさらに発信する。

問 今後、ライトアップの開催は。

答 町が事業主体での実施予定はない。「養老公園運営協議会」で地元の見解として要望していきたい。養老公園140周年記念事業として「まるごと肉まつり養老2020」を本年4月18、19日に開催予定。

問 外国人観光客への対応は。

答 親孝行ふるさと会館で放映されて



養老町人口ビジョン・「絆を大切にすまち養老」創生総合戦略



養老公園 養老の滝



◆ 岩永 義仁 議員

複数のこども園の廃園は

町長 区長会及び行政懇談会で告知した

10月に開催された入園予定者説明会で「こばとこども園」の廃園と「日吉こども園」の3歳未満児の廃止が告知された。

問 廃園理由は。

答 施設の老朽化と急速な少子化が主な原因。

問 少子化対策で子育て支援を行っている中、子育て世帯の利便性を損なう廃園は時代に逆行していないか。

答 在園、未就園にかかわらず、充実した子育て支援を行い、安心して子育てできる環境をつくりたい。

問 昨年の一般質問で小学校は統廃合しないと答弁があった。子ども園で真逆の対応と考えるが。

答 小中学校でも検討が必要と考える。

問 廃園後の受け皿はどうするの。

答 受け皿を確保した上で実施する。3歳未満の子どもについては高田地内及び大坪地内において、民間の小規模保育の運営業者と新規開園に向け相談している。こばとこども園の3歳以上については養老こども園とよろう保育園での対応を検討。日吉こども園については日吉小学校の利用や南園舎の改修を考えている。



仲良く遊ぶ園児の様子

改良住宅政策の方針変更は

町長 譲渡を進める

審議会で令和8年度までに入居中の希望者に対して払い下げを実施すること、希望しない入居者には家賃の値上げが決まった。

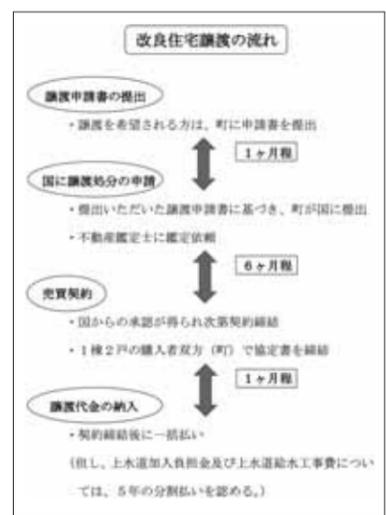
問 住民説明会が開催されたがどのような意見が出たか町の認識を問う。

答 改良住宅の譲渡と家賃の改定について、3ヶ所6日間で70名ほどが参加し、様々な意見や質問が出た。今後はこれを参考にしつつ対策委員会及び審議会に諮り実施していきたい。

問 地区区長会の複数の区長有志から要望書が届けられた。内容の見解を問う。

答 法的措置等で又借り者を退去させてきたが、180度方針が変わり住み続けることができるようになった。これまで退去させた人についての対応はどうか。

答 区長会からコミユニティ維持のための措置が必要との要望があり方針変更した。退去済みの者についての対応は考えていない。



改良住宅譲渡の流れ

旧養老女子商業高校避難所は

町長 県と協議する

想定外の水害が全国で発生。当町では、揖斐川等の三河川で2日間総雨量667ミリの降雨による洪水を想定したハザードマップを、平成30年度に作成した。

問 指定避難所数及び浸水の想定は。

答 避難所として33箇所を掲載。避難所の場所によっては浸水エリアにある。養老町役場・消防署も浸水エリアにあるため避難情報を十分に確認してほしい。

問 避難所の開設・運営は誰が行うのか。

答 町職員が行うが、長期になる場合は避難者及びボランティア中心の組織編成が必要である。

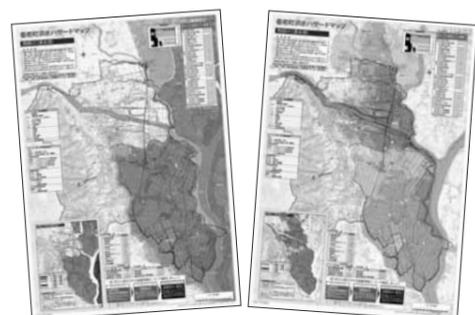
問 防災士の活用は。

答 57名の方が防災士の資格を取得、町全体としての組織はないが、どのような取り組み

みが効果的か検討する。

問 旧養老女子商業高校の避難所見直しは。

答 牧田川・揖斐川の浸水想定区域から外れており、非常に有効な立地条件であるため、覚書の内容を見直して県と協議する。



揖斐川・牧田川洪水ハザードマップ

決算総括表から見る課題は

町長 現年課税分の収入額向上を

Table with columns for income, expenses, and tax amounts for various categories like general account, national health insurance, etc.

問 不納欠損額と収入未済額について徴収目標額は。

答 不納欠損額と収入未済額を減らすことは滞納額の低減を図ることであり、徴収事務の成果は収納率に現れると考える。平成30年度の収納率は対前年度比0.81ポイント向上の91.43%である。

不納欠損額と収入未済額の総額は歳入総額の4%に相当する為、対策強化が必要である。

問 徴収専門職の養成と今後の徴収対応は。

答 平成27年度に税務課内に徴収推進室を設置し、現在職員4名と嘱託職員1名が専門職として対応している。今後は、県税事務所への職員派遣の継続や嘱託職員の増員、及び納税者の納税意識の高揚方策、税務行政に対する満足度向上のため、職員の税に関する専門性や接遇力をより高めることも検討する。現年課税分の収入額向上が滞納繰越分を減少させ収納率の向上に繋がることから、期限内納付の促進と滞納者には文書催告・臨戸徴収・差押を中心とした滞納整理を積極的に進めている。

平成30年度の徴収状況

議会アンケート結果

(令和元年10月26日、27日 養老フェスタ2019にて実施)

Q1. 年齢

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	合計
4人	8人	16人	23人	25人	68人	98人	14人	256人

Q2. 町行政のどのようなことに興味がありますか？ (複数回答可)

福祉	経済	観光	企業誘致	教育	子育て	人口問題	無回答
100人	54人	70人	74人	42人	52人	93人	1人

Q3. 議会及び議員個人に期待することは何ですか？ (複数回答可)

福祉	経済	観光	企業誘致	教育	子育て	人口問題	地域貢献	一般質問	無回答
67人	46人	47人	68人	39人	25人	41人	70人	24人	4人

(主なその他の回答)

- オールマイティではなく、各自が得意とする専門分野で町全体のため、町民のために提言や言動をされるのではないのでしょうか？
- 養老の経済的実情を考えられることにしほり養老の町づくりを考えて頂きたい。実情をもっと現場で学習していただきたい。
- 若い人の流失、子育て世代の激減、老人の増加、もっと真剣に取り組んでください。

Q4. 議員定数は現在13人です。何人が妥当だと思えますか？ (上限定数26人)

8人	9人	10人	11人	12人	13人	14人	15人	無回答
14人	21人	57人	19人	13人	86人	4人	15人	27人

Q5. 現在の議員報酬の月額26万5000円は妥当だと思えますか。

はい	いいえ	無回答
152人	73人	31人

Q6. 消防団活動に対して、ご意見等ございましたら何でもご自由にお書きください。

(主な回答)

- 消防団の目的を現在社会から考えてみる必要がある気がする。本来の消火活動は消防署に任せて、これからは防災、地域安全分野への活躍を期待する。
- 最近では災害が多く、被災地で消防団が活躍されているニュースを見ますと消防団も必要かと思いますが、隊員の方たちの日頃の負担を考えますと、見直す時期かもしれません。
- 人口が減っている。消防団員に該当する人がいないため、各分団の部を半分にする。他の県の消防団の活動をリサーチして、もっと参考にし、人口が減っても、活動できるよう研究すべき。

Q7. 議会に対して、ご意見等ございましたら何でもご自由にお書きください。

(主な回答)

- 13人の議員さんが一致協力して町発展に尽力してください。
- 賛成意見は聞こえにくく、反対や批判は大きく聞こえてくる大変な業務だと思いますが、当初の「町のために」という志を大切にリーダーとして頑張ってください。
- 現状維持を良しとするな。養老町は消滅する都市に入っていることを忘れないで仕事して。

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。

この他にも議会に対してのご意見を多数頂いておりましたが、紙面の都合上、割愛させていただきました。なお、頂いたご意見は、議員全員の共通課題として取り組み、今後も皆様からの負託に応え得るよう尽力して参ります。
議会改革特別委員会

第3回養老町子ども議会を開催

令和元年11月26日 午後4時より 養老町役場4階議事堂において

第3回養老町子ども議会が養老町役場議事場で、開催された。

高田・東部両中学校の3年1名ずつが議長となり、また、各クラスの代表2名ずつ合計16名が議員になり、養老町の将来について自分たちの考えを提案発表した。各中学校2年生の生徒及び先生、保護者の方、町議会議員など、大勢の方の傍聴があった。

生徒は「ふるさと養老テキスト」の学習を通して学んだことや、身近な課題に目を向け、夏休みも活用し、調査・研究してきた。第3回目となる今回は、



中学生が各クラスで話し合いを重ね、まとめた意見や提案を発表した。それに対し、町の担当課より現在取り組んでいることを踏まえ、参考にできることなど感想を述べた。



中学生の意見・提案

- ・SNS映え情報発信で養老町の地域活性化。
- ・養老鉄道の将来について。花畑で季節を楽しんだり、イルミネーションで夜景を楽しめるように。
- ・地域の「公園」をコミュニティのつながりの場

として有効活用しては。自転車通学安全モデル校として、交通安全ビデオを作成。

- ・人権を大切に。あいさつがあふれる養老町へ。
- ・アートをういた養老町の活性化。
- ・花畑を通して「美しい環境」と「地域の絆」を。
- ・もしもの時の避難所生活、私たちにできることは。など、多数の意見が発表された。



中学生の感想

- ・緊張しましたが、養老町の未来のために、地域の方々が幸せに暮らせるようにと思い、自分たちで考えてそれを言葉にして伝えることができました。
- ・若者らしい考えを養老町の明るい未来のために広げていきたいです。
- ・子ども議会の中で中学生にも出来る事はたくさんあるなと感じました。
- ・若い世代が町の活動に積極的に参加することや、企画し提案することが大切だと思った。



中学生の感想は原文のまま掲載。